

BCP文書の作成により取引先との 信頼関係を強化 — 株式会社セキムラ —

やさしさ、思いやり、安心”をテーマにした医療機器を目指して

- 当社は、1960年創業の医療機器製造・販売会社で、主に歯科医療分野を中心として、感染予防をベースに多くのオンリーワン商品を開発し、歯科大学、附属病院、全国の歯科医院に販売しています。
- 情報・科学技術の発展に相まって医療技術は、ますます専門化され、より高度なものとなっていますが、どんなに医療技術が進歩しても“人が人を診療する”という医療の本質は昔も今も変わりません。何よりも求められているものは、医師と患者さんとの“心のふれあい（信頼関係）”であると思います。
- 私たちセキムラは、患者さんへのやさしさ、思いやり、そして快適で安全な質の高い医療の実践こそ、この信頼関係を築く重要なファクターと考え、“やさしさ、思いやり、安心”をテーマにした医療機器、医療用品の開発と普及を通して、微力ながら医療の発展に寄与していきたいと思えます。
- また、〈明日の医療に奉仕する〉をモットーに、次代にふさわしい人材の育成と技術力の向上に努め、信頼される製品づくりを通して、医療機関の先生方をはじめ、取引先、株主の皆様、そして社会から信頼され、支援される企業の構築を目指して日夜たゆまぬ努力をしまいたいと念願するものであります。



笑気吸入鎮静機

歯科医療分野で国内トップシェアの製品群

歯科治療関係の機器の主流は輸入製品でしたが、鎮静用に使用する笑気吸入鎮静機は、30年前に当社が初めて国産品を開発し、国内シェアは70%、15年前に開発した歯科治療器具を消毒する高温オイル殺菌洗浄器は国内シェア60%を獲得しています。この様にニッチな分野でオンリーワン製品の開発に取り組んだ結果、市場から高い評価を頂いています。また、歯科用双眼ルーペは平成23年度板橋製品技術大賞を受賞しました。



高温オイル殺菌洗浄器

ネットワーク活用型の企画・開発方針

当社の製品開発は、医師・歯科医師をはじめとする医療従事者や、患者様の意見を最大限取り入れ、また、自社のみでなく協力企業とのネットワークを効果的に活用して行っています。開発のキーワードは「やさしさ、思いやり、安心」であり、技術面の優位性だけでなく、関係者する全ての方々に満足頂ける製品の開発を目指しています。

BCP策定への取り組んだ理由

当社の様な医療分野に従事する企業は、苦しんでいる患者様や医療に従事する方々を思えば、どんなことがあっても約束通りに製造・納品することが使命である。この使命を果たすためには、どんな予期せぬ災害に遭った場合でも、早急に生産を再開できる体制を作らねばならない。この為、BCP策定の必要性を認識していたが、膨大な作業が必要で社内の体制を組む余裕がないため実施できない状態であった。

板橋区より提案を受けた簡易型BCPは必要最低限の事項に絞ったファイル作成であった。膨大なファイルを作成しても、被災時の混乱の中でどこまで活用出来るか疑問に感じていたため、この様にコンパクトなファイルであれば、混乱の中でも必要事項が直ぐに見つかり、直ぐにアクションに移せる実用性の高いものと判断し、策定に取り組むこととした。



関村 正夫 氏

策定にあたり特に注力した点

- ▶ 被災した際に、先ず従業員、お客様、外注先、その他協力先に直ちに連絡を取ることを最優先課題とし、連絡先リストの整備に注力した。
- ▶ 被災の混乱の中、直ぐに使用できることが重要であるため、現実に使えるかどうかを優先して、BCPに盛り込む書類は、必要最低限に絞り込むようにした。
- ▶ 製品の設計・製造に関わる重要書類は、データ・書面それぞれを多重化して保管することとした。
書類名と保管場所をBCPで管理することで、緊急時に直ぐに対応出来る様にした。

BCP策定の感想・効果

BCPの策定について、板橋区から認定を受けたことにより、当社製品を使用頂いている医療機関や共同で開発・製造を進めている協力企業からの信頼を高めることが出来るものと期待している。

また、BCPの策定を進める中で、当社にとってコアとなる事業の見極めを行う良い機会となった。

業務フローを見直し、業務の効率化や無駄の排除を検討するきっかけになった。

当社の機器の開発・製造は協力企業とのネットワークに依存するところが大きいため、協力企業にもBCP策定を勧め、グループ全体としての緊急時の対応力を高めて行きたい。



事業者情報

事業者名	株式会社セキムラ
本社所在地	板橋区志村1-28-1
設立	昭和35（1960）年10月
資本金	1,000万円
従業員数	30名
代表者	関村 正夫
Tel	03-3966-7736
URL	http://www.sedent.co.jp/